

2013年度 日本文化人類学会 第5回 理事会 議事録

日時：2013年10月19日（土）14:00～16:30

会場：東京外国語大学本郷サテライト 4階セミナールーム

出席者：小泉、上杉、亀井、窪田、栗本、棚橋、出口、中谷、三尾、山本

委任状提出：赤堀、綾部、池田、小田、春日、岸上、佐々木、清水、曾我、高倉、松田、森山、和崎

〔承認事項〕

1. 2013年度第4回理事会議事録（案）を承認。
2. 新入会員（14名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. シンポジウム等の学会後援について
 - ・国立民族学博物館より特別展示会「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋の博物館 Attic Museum: 'Shibusawa Keizo Memorial Project Attic Museum」」（2013年9月19日～同12月3日）の後援依頼があり、総務会で承認したことを報告の上、事後承認。
 - ・同上特別展示会での『民族学研究』掲載論文（小川徹「南朝鮮の一農村における村落生活と民具について—1936年慶尚南道蔚山邑達里調査個人報告」『民族学研究』21巻4号:259-269頁、1957年）の展示許諾申請があり、総務会で承認したことを報告の上、事後承認。

〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
 - ・8月に逝去した大給近達元理事・評議員のご遺族へ弔意規程に基づき弔電を送ったことを報告。
 - ・2013年度朝日賞（人文）候補者の推薦を行ったことを報告。
 - ・第26回評議員選挙の選挙管理委員会が発足したと第1回選挙管理委員会が10月12日に開催され、選挙日程や会員調査の定例通りの実施が決定したことを報告。
 - ・第9回日本文化人類学会賞受賞候補者について評議員への投票依頼（10月28日締切）を行ったことを報告。
2. 総務理事報告
 - ・2014年度人類学関連学会協議会合同シンポジウムのシンポジストについて調整中であることを報告。
 - ・人類学関連学会協議会の加盟学会へIUAES2014with JASCAにおけるパネルの組織を依頼したことを報告。
 - ・今年度の本学会主催公開シンポジウム「現代文化人類学のフィールドワーク力：人類学は現代世界をどうみるか？」が11月17日（於京都大学）に開催されること、2014年度の本学会主催公開シンポジウムについて亀井伸孝氏が組織者を務めることを報告。
3. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：欠席の松田理事に代わり上杉理事より次の報告がなされた。
 - ①78巻2号が予定通り刊行されたこと。
 - ②投稿が増えているが、投稿についてはすぐに掲載に至るものが少ないため、引き続き投稿の呼びかけを要請すること。
 - ③前回理事会で報告された査読回数については3回以上の査読が必要となった論文は不採用とする案を検討中であること。
 - ④新しい投稿区分として「研究展望」の設置を検討中であること。
 - ⑤JASCA-INFOを通じて会員に書評への寄稿依頼を配信したこと。
 - ・JRCA編集委員会：Vol. 14の進捗状況と、同号を特集原稿で構成することを報告。学会賞受賞論文の翻訳については翻訳者から翻訳補助を入れるとの連絡があり、JRCA誌上に翻訳補助者の氏名も明示することとした。また、*Déjà Lu* (WCAAの無料オンライン・ジャーナル)の企画者より編集主任宛に論文募集の案内があったことが報告され、昨年と同様、今年度の学会奨励賞受賞論文を提出することを確認。
 - ・課題研究懇談会担当委員会：連絡担当の棚橋庶務理事より、2014年度課題研究懇談会新規募集の応募

状況を報告。

- ・学会歴史委員会：「民族学者映像資料の利用条件」（民博館長あて文書）について、江上波夫氏のインタビュー映像に関する承諾書を確認したため改訂と差替えを行うことを報告。岩田慶治氏のインタビュー映像を一般向け公開とし、他のインタビュー映像は会員向け公開とすることを確認。
 - ・研究大会運営検討委員会：欠席の春日理事に代わり棚橋庶務理事より、第47回研究大会報告書と会計報告書が大会準備委員長より提出されたことを報告。理事による内容確認の上、承認された。
 - ・学会賞選考委員会：奨励賞の選考が終了したことを報告。選考規則の年齢条件の変更等、理事間で意見交換がなされた。
 - ・次世代育成セミナー実施運営委員会：欠席の森山理事に代わり棚橋庶務理事より、4名の発表者が確定したこと、西日本会場（11月16日、於国立民族学博物館）、東日本会場（11月30日、於東京大学駒場キャンパス）での開催が決定したことを報告。なお、各プログラムが確定した段階でJASCA-INFOと学会HPでこれを周知することとした。また、関連して前年度までの発表者の学会誌への投稿状況の確認と、査読の体制についても意見交換がなされた。査読の件については編集委員会内で長期的に話し合うこととした。
4. その他
- ・亀井理事より、2014年度本学会主催公開シンポジウムの成果公開促進費成果公开发表(B)応募に関わって、シンポジウムの開催時期・対象者等に関して確認がなされた。亀井理事より提出された計画調書原案については総務会で確認することとした。

〔審議事項〕

1. 「東日本大震災の被災会員に対する2013年度会費徴収特例措置」に関わる申請について
 - ・本件につき、2012年度・2013年度の2年分の年会費特例措置の申請が1件あり、総務会の事前検討の結果に基づいて審議の結果、承認された。
2. 学会賞選考規則の改正について
 - ・学会賞選考委員会での検討を経た改正案について説明がなされた。意見交換を行い、その結果を踏まえて継続審議とすることとした。
3. 国際情報発信強化申請に関する内容の概要について
 - ・欠席の松田理事に代わり上杉理事より、科学研究費補助金の成果公開促進費「国際情報発信強化」への申請を控え、英文率の向上、投稿論文数の増加、編集体制の国際化等を主な目標に据えた計画案概要の説明がなされ、それに基づき意見交換がなされた。その結果を踏まえ、研究成果公開促進費申請検討ワーキンググループにおいて計画調書原案を作成し、総務会で最終調整を行うこととした。
4. 学会50周年記念事業について
 - ・小泉委員長より、日本文化人類学会50周年記念国際研究大会について学会50周年記念事業準備委員会での検討を経た次の事項について報告がなされた。
 - ①千葉県「コンベンション開催準備資金貸付」制度への申込みを行うことについて説明があり、承認された。
 - ②各助成金への応募申請及び採択状況について報告があり、予算の目途がつきつつあることが説明された。
 - ③学会50周年記念事業の準備状況について理事会メーリングリストで配信済みであることを報告、各理事に確認を促した。
5. その他
 - ・栗本理事より、各課題研究懇談会と各地区研究懇談会に学会50周年記念事業に関連するシンポジウムやイベントの企画立案を依頼したことが報告された。
 - ・小泉会長より、国立民族学博物館と国立新美術館との企画展示について、会期が2014年2月19日～6月9日に変更のうえ確定したことが報告された。
 - ・小泉会長より、学会50周年記念国際研究大会の運営補助についてICSコンベンションデザインへの委託を進めることが報告された。
 - ・WCAAから配信される情報を掲載するコーナーを学会HPに設ける計画について、広報情報化委員会で対応することが確認された。

以上